

校長の想い9月

## 特別な日

いよいよ2学期が始まります。みんな、それぞれの夏休みの良い思い出を胸に、学校生活に入ることでしょう。この2学期も事故なく、有意義な学期になるように願っています。

さて、皆さんにとって8月31日という日は、今日で夏休みが終わってしまうということでも切ない日ではないでしょうか。

私にとっては、とても思い出深い日なのです。

私の8月31日にまつわる体験話を聞いてください。

私が小学生の低学年の時、ある8月31日の朝、母が私を朝寝坊させてくれたことがありました。その時「今日は夏休みの最後だから、少しでも朝寝坊させてあげようと思って」と母が私の姉に話をしているのを私は寝床で聞いていました。

そんな母も他界して、私が三宅高校で勤務している時の出来事です。

三宅島は神津島と違って、船は橘丸という東京竹芝桟橋を夜10時半頃出航して、翌朝4時40分頃に島に到着する大型船のみで、ジェットフォイル船のような高速船は出ていません。

8月30日の都内での用事を済ませて、いつものように竹芝桟橋に向かうため自宅を出る前に仏壇に手を合わせて、「行ってきます。家内安全をお願いします。」「明日は8月31日ですが、朝寝坊はできませんね。4時15分には起きなければいけませんからね。」と言って出かけて、私は橘丸に乗船しました。

船は順調に航海していきましたが、4時40分を過ぎても到着を知らせるチャイムが鳴りませんでした。その日の下り便は、波の関係で三宅島に着岸することができず御蔵島、八丈島へ向かったのです。

「あっ。母だ」と思いました。その日は、朝寝坊できたのです。

私が三宅島勤務5年間の中で、船が波等の影響で三宅島に着かず、八丈島まで行ってしまったことは、出張で100往復したうちで、たったの2回しかありませんでした。

この日は、私が三宅島に着岸できなかった2回にうちの1回だったのです。

その後、八丈島からの上り便でその日の午後に三宅島に着きました。

母の愛は海より深いと言いますが、そのような事を体験した特別な日なのです。